# 学校だより

宮古島市立北小学校
第１４号
文　責　呉屋　武志

## 【勝利の女神が微笑むとき】

**「なぜ、勝てないのか？」**かつて沖縄の高校野球代表は、甲子園でリードしながらも終盤に逆転負けを喫する時代が続きました。原因の１つは、部活動だけに力を注ぎ、**日頃の生活態度が疎か**になっていたことにあります。当時は「野球さえ頑張れば強くなれる」と信じられ、授業開始のあいさつで机に伏せる部員も少なくありませんでした。しかし、日常が整っていなければ、**「ここぞ」**という場面で本来の力は発揮できません。**他校の手本となる姿**がなければ、**「勝利の女神」**は微笑まないのです。そこで、沖縄尚学高校を率いた金城監督は、**授業や練習への態度、食事のマナー、地域への貢献、あいさつや返事、道具を大切にする心、寮や帰宅後の過ごし方まで徹底**し、県勢初の全国制覇へと導きました。勝負は強いチームが勝つのではなく**「勝つのにふさわしいチーム」**が制します。沖縄尚学が頂点に立てたのも、まさに優勝にふさわしい集団だったからであり、後に春夏連覇を成し遂げた興南高校の我喜屋監督も同じ言葉を語っています。



テストで１００点を取るにも、陸上で勝つにも、それにふさわしい姿勢に加えあいさつ・返事・後片付けといった日常が欠かせません。家庭と学校が連携して日々の生活を育み、北っ子に「勝利の女神」が微笑むことを願っています。

## 《おもちゃランド》

２年生が生活科の学習でおもちゃを作り、幼稚園児や１年生を招待して**「おもちゃランド」**を開きました。「喜びそうなおもちゃを作ろう」「遊びやすいように工夫しよう」と試行錯誤を重ねて完成させました。

当日は**優しく声をかけ、丁寧に遊び方を説明**しながら一緒に楽しむ姿が見られました。お兄さん・お姉さんとして成長した誇らしげな表情が印象的でした。



## 『異学年朝会』

今年度からの新しい取組として、**「異学年朝会」**を実施しています。普段とは違う他学年の先生が話をするため、子供たちもいつもより心地よい緊張感をもって、真剣に耳を傾けています。この朝会は、「全職員で全校児童を見守り育てる**（学校Ｔ・Ｔ）**」という考えのもとに行っているものです。学校全体のきまりや共通実践事項に加え、各学年の先生方が「こんなふうに成長してほしい」と願う想いも伝えています。「よその学年の子」ではなく**「みんな北っ子」**として、学校全体で子供たち一人一人を温かく育んでまいります。



## ＜児童の活躍報告＞

☆令和８年度 宮古地区読書感想文・画コンクール

**感想文の部**

**佳作　新城 沙羅（５年）　平良 優笑（１年）**

**感想画の部**

**最優秀　仲間 優翔（５年）**

**優秀　池原 壮志（４年）**

**優良　中澤 結心（２年）　片山 修吾（４年）**
**新城 紗羅（５年）　互野 真子（１年）**
**砂川 葵（３年）　下地 竜正（３年）**

☆みやこ下地島空港ターミナル絵画コンクール

**佳作　仲間 優翔（５年）　池間 いつき（４年）**

☆第25回宮古地区管打楽器コンテスト

**アンサンブル部門　金賞　北小金管バンド部２組**

☆第44回JTA・RACあおぞら図画コンクール

**佳作　本村 虹貴（６年）**　おめでとう

## 【防災の日に】

宮古島は美しい海に囲まれ恵まれた環境にありますが、海が近い分、巨大地震による津波のリスクもあります。地震や津波は、いつどんな時に起こるのか予測ができません。だからこそ**「自分の命を自分で守る力」**を身につけることが重要です。避難訓練はその**大切な学びの一環**です。子供たちは放送をしっかりと聞き、教職員の指示に従って、迅速に高所へ避難することができており、大変立派でした。ぜひ、ご家庭でも万が一の際の**避難場所**や**合流方法**について話し合う機会を持っていただけますとありがたく存じます。

